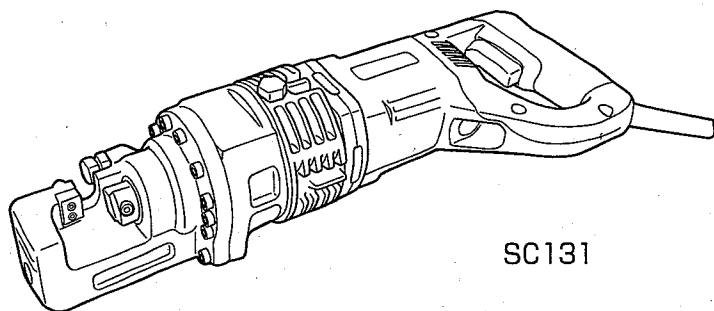
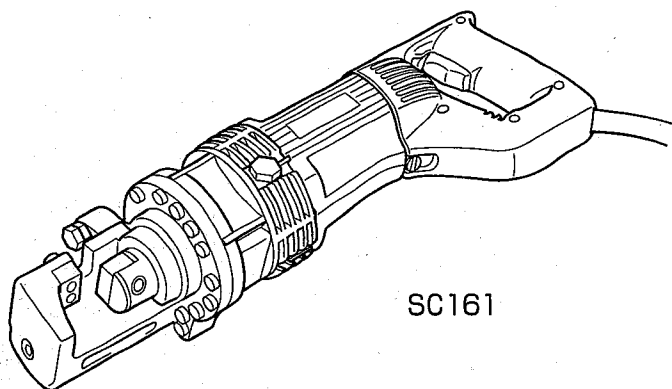
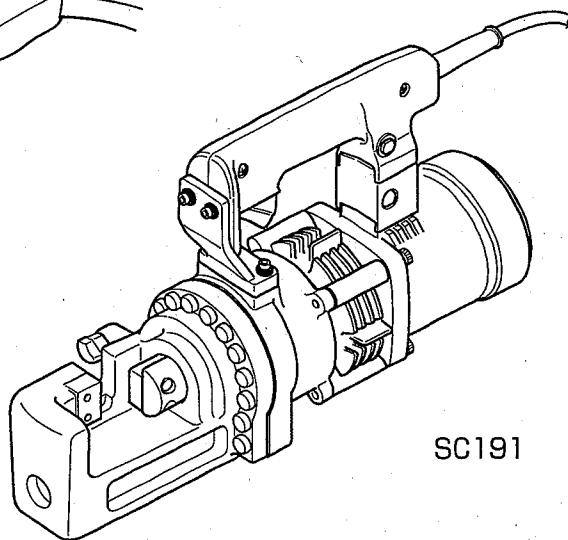
鉄筋カッタ

モデル SC131/SC161/SC191

取扱説明書

SC131

SC161

SC191

二重絶縁
このマークは、電気的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地（アース）しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびマキタ鉄筋カッタをお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

主要機能

主要機能 ＼ モデル		SC131	SC161	SC191
電動機		直巻整流子電動機		
電圧		単相100 V		
電流		7.5 A	11 A	14 A
周波数		50 - 60 Hz		
消費電力		710 W	1050 W	1330 W
切断能力 (切断材料抗張力)	SD345相当品	φ13 mm	φ16 mm	φ19 mm
	SD390・SD490相当品 （SP刃物使用）	φ13 mm	φ16 mm	φ19 mm
切断速度		1.2 秒	1.5 秒	2.5 秒
質量		7.2 kg	8.7 kg	12.8 kg
機体寸法(長さ×幅×高さ)		447×151×110 mm	492×165×120 mm	396×112×220 mm

● 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

注意文の ⚠警告・⚠注意・注 の意味について

ご使用上の注意事項は⚠警告と⚠注意・注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取扱等に関する重要なご注意。

⚠ 警　告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
5. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
8. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
9. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

⚠ 警　告

・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

10. 保護めがねを使用してください。

・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音保護具を着用してください。

・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。

・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工する物をしっかり固定してください。

・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は注意深く手入れをしてください。

・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。

・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

・使用しない、または、修理する場合。

・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。

・その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。

・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。

・常識を働かせてください。

・疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

⚠ 警　告

・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、鉄筋カッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

2. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
・確実に保持していなしと、けがの原因になります。

3. 使用中は、刃物およびその周辺に手や顔などを近ずけないでください。
・けがの原因になります。

4. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。

5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機械などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注　意

1. 刃物類は取扱説明書に従って確実に取りつけてください。
・確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

3. 使用中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて使用を中止してください。
・そのまま続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

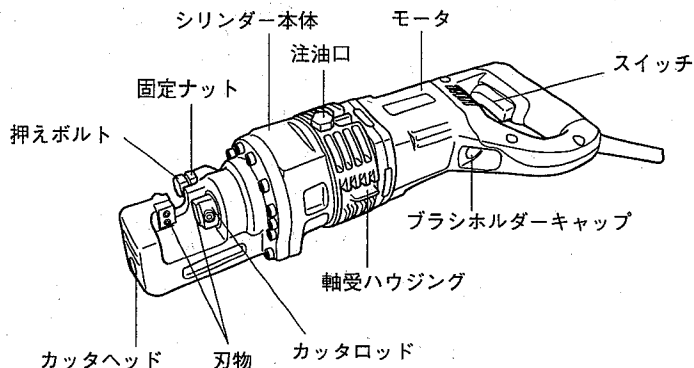
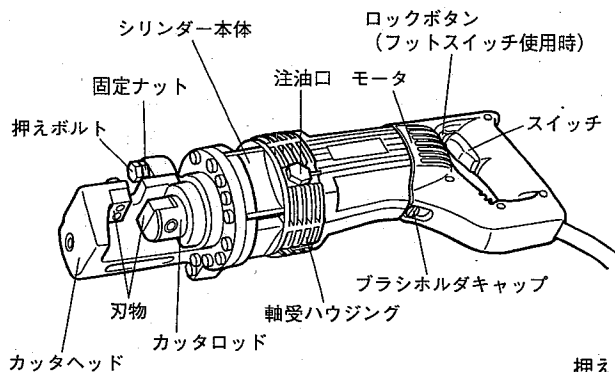
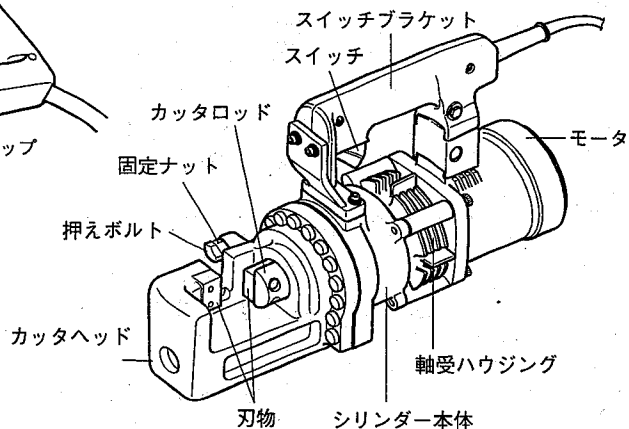
注

・鉄筋カッタは電動油圧式です。お求めいただく時には、内部の油量は充填されておりますので、作動不良がないかぎりは補充しないでください。
・機械に合った純正刃物をご使用ください。
・磨耗したり、変形、破損、亀裂などが生じた刃物は、本体の故障の原因となるばかりでなく、事故の原因となる恐れもありますのですみやかに純正刃物と交換してください。
・本機は油圧オイルを使用しておりますので、気温、室温が低い場合や、使いはじめには、2~3分ていどの暖気運転（無負荷運転）をおこなってください。
・電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	~5A	5~10A	10~15A
0.75mm²	20m	−	−
1.25mm²	30m	15m	10m
2.0mm²	50m	30m	20m

つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品

SC161

■ 標準付属品

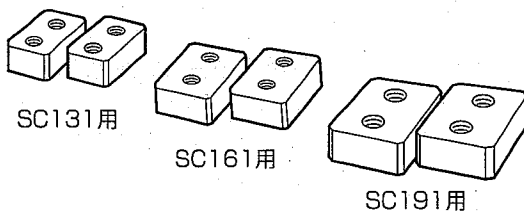
(SC131/SC161)

- 収納ケース
- 六角棒スパナ　3. 4. 5(各１本)
- 両口スパナ　14×17
- 油圧オイル＃46　(35cm³)

(SC191)

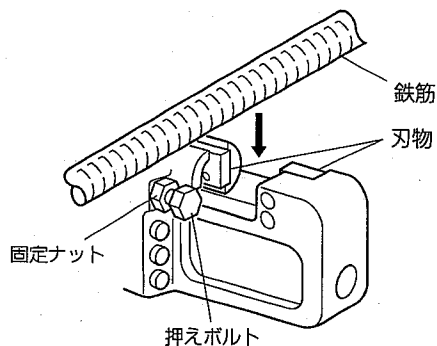
- 収納ケース
- 六角棒スパナ　3. 4. 5. 6(各１本)
- 両口スパナ　17×19
- 油圧オイル＃46　(150cm³)

■ 別販売品

- 替刃

油圧式鉄筋カッタの替刃（四面使用）

機　種	A(カッタヘッド側取付)	B(カッタロッド側取付)
SC131(φ3〜φ13 m/m)	20×15×9×M5 m/m 2穴	20×15×8×M5 m/m 2穴
SC161(φ3〜φ16 m/m)	26×20×10×M5 m/m 2穴	21×20×10×M5 m/m 2穴
SC191(φ3〜φ19 m/m)	28×20×11.5×M6 m/m 2穴	26×20×10×M5 m/m 2穴

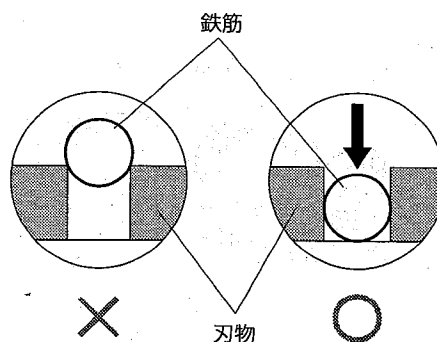
操作方法

1. 右図のように、**鉄筋を切断口に、刃物に対して直角になるようにセット**してください。
   このとき、鉄筋の太さ（直径）にあわせて「押えボルト」とその「ナット」を調節し、固定してください。鉄筋はこのボルトの頭部で支えられて、切断時にも刃物に対して直角をたもちます。

2. 右図のように、**鉄筋を刃物と刃物のあいだに深く置いてください。**

⚠ 警　告

鉄筋をセットする位置が浅い場合には、切断の瞬間に鉄筋の切断片や破片が飛ぶことがあり危険です。
また、刃物が破損する原因にもなります。正しく鉄筋をセットしてください。

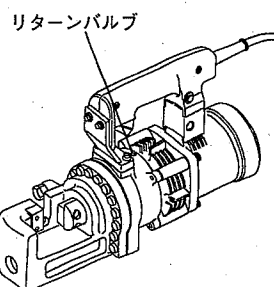
⚠ 警　告

破損（刃がけ、ひびわれ）したり、変形した刃物はすみやかに交換してください。鉄筋切断の際にははずれたり、われたりして重大な事故になる危険があります。

3. スイッチを入れると、刃物がついた「カッタロッド」が前進し鉄筋を切断します。このとき、**「カッタロッド」が先端まで前進し停止するまでスイッチは引いたままにしてください。**

4. スイッチを切ると「カッタロッド」はもとの位置までもどります。
   「カッタロッド」は、先端まで前進し停止するまでは、途中でスイッチを切ってももとの位置へはもどりません。これは、機械内部の油圧制御バルブが中間位置では開放しないためです。同様に、**「カッタロッド」がもとの位置まで完全にもどるまでは、スイッチを入れても再び前進しません。**
   「カッタロッド」が完全にもとの位置までもどり停止してから、次の切断のためにスイッチを入れてください。

注

機械本体の外部表面の温度が70℃をこえるとパワーが低下します。いったん冷却のために使用をやめてください。

リターンバルブの使用方法（SC191のみ）

● 本機の「リターンバルブ」は、鉄筋切断時のトラブルにも対応できる便利な機能として設置されています。鉄筋を切断する際に、もし切断途中でカッター刃物が材料にくいこんだまま停止してしまった場合などには、リターンバルブを付属の六角棒レンチにて時計回りと反対の方向へ半回転ほどゆるめることで、本体内部の油圧が解放されて、カッターロッドはもどります。トラブルを解消したあとは必ず再びバルブを締め込んでください。次の切断ができます。

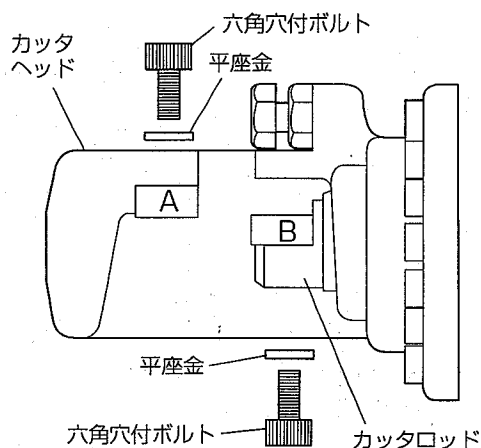
刃物の取り付け・取りはずし方

⚠ 警　告

刃物の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・プラグを電源につないだままおこなうと事故の原因になります。

注

刃物を交換される場合は次の手順で取り替えてください。

1. 刃物はカッタヘッドに取り付けられる刃物Aとカッタロッドに取り付けられる刃物Bとがあります。取り付け位置を間違えないよう正しく取り付けてください。
2. カッタヘッドとカッタロッドの刃物を取り付けている六角穴ボルトを取りはずしてください。
3. カッタヘッドとカッタロッドの刃物取り付け部の汚れやゴミを取り除いてください。
4. 刃物Aをカッタヘッドに、刃物Bをカッタロッドに六角穴付きボルトと平座金でしっかり締め付けてください。（図参照）

⚠ 警　告

刃物はしっかりと確実に取り付けてください。
・取り付けがゆるいと事故やけがの恐れがあります。

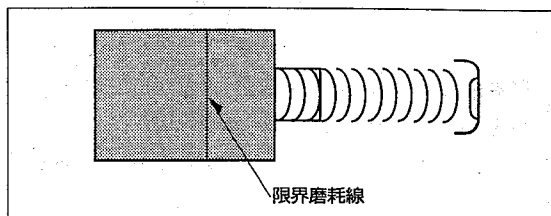
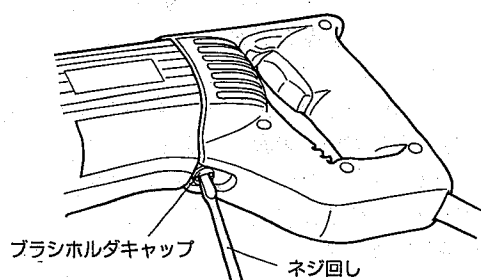
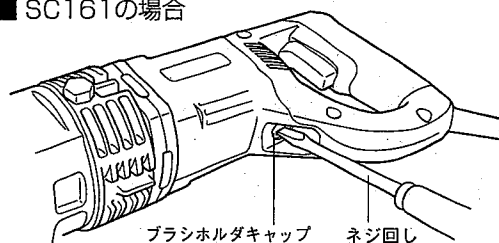
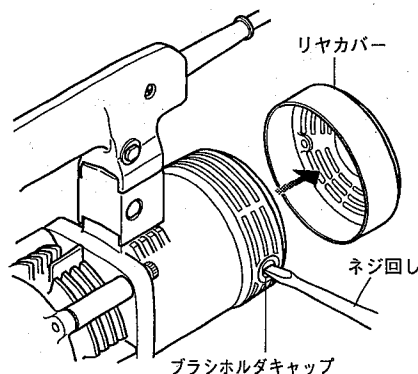
刃物取付ボルト (mm)

モデル	A（カッタヘッド側刃物）	B（カッタロッド側刃物）
SC131	六角穴付ボルト　M5×15　2本	六角穴付ボルト　M5×12　2本
SC161	六角穴付ボルト　M5×18　2本	六角穴付ボルト　M5×15　2本
SC191	六角穴付ボルト　M6×18　2本	六角穴付ボルト　M5×15　2本

カーボンブラシの交換のしかた

・カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界磨耗線まで磨耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず弊社指定のカーボンブラシをご使用ください。
・ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・中から磨耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時におこなってください。

⚠ 警　告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・プラグを電源につないだままこなうと、感電や事故の原因になります。

■ SC131の場合

■ SC161の場合

■ SC191の場合

保守・点検について

オイルの補充方法

注

> **オイルはマキタ純正油圧オイル＃４６をお買い求めください。**
> **その他のオイルは使用しないでください。**

オイルの入れ方(不足のときの補充の仕方)

1. 鉄筋をはさみ（能力最大径の鉄筋、つまりSC131では13mm、SC161では16mm、SC191では19mm）スイッチを入れて鉄筋の中心部あたりまで「カッタロッド」を前進させます。
2. スイッチを切り、「カッタロッド」を止めます。
3. そのままの状態で、注油口のボルトをはずし油圧オイルをいっぱいまで補充してください。
4. いったん注油口のボルトを締め付けて、スイッチを入れ、(1)ではさんだ鉄筋を切断してください。
5. (1)から(4)までの操作を２～３回繰り返しながら、油圧オイルの補充を行なってください。注油口のボルトをはずしたときにオイルがいっぱいまで入っていて、その油面が下がらなければ完了です。

カッタロッドが出てこないとき

原因

1. 油圧オイルが少ない。又は入っていない。
2. 切断した鉄筋カスなどがカッタロッドの摺動面についてカッタロッドが完全に戻っていない。

対策

1. 前述の要領で油圧オイルを補充してください。
2. カッタロッドを傷めないよう鉄筋カスなどを布で拭きとってください。又、カッタロッドは定期的に掃除してください。

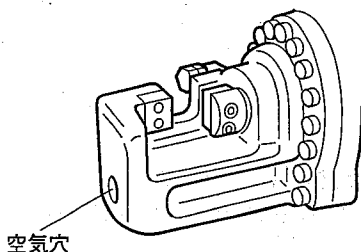
カラ運転ならカッタロッドが出るが鉄筋をはさむと切れない

原因

1. リリースバルブに鉄粉、ゴミなどが付いている。
2. チェックバルブに鉄粉、ゴミなどが付いている。
3. ウレタンパッキンの磨耗。
4. ピストンの磨耗。

対策

この場合は機械の分解、点検・整備が必要です。販売店、事業所へお申しつけください。

> ⚠ **警　告**
>
> 抗張力の高い(硬い)鉄筋や輸入された鉄筋を切断する際に切片が飛ぶおそれがあります。周囲の安全を十分にお確かめのうえ作業をしてください。また、不測の場合に備えて作業者は保護メガネをご使用ください。

> ⚠ **注　意**
>
> カッタヘッド先端の空気穴を泥やほこりなどでふさがないでください。油圧を調整する大切な空気穴です。

●全国に拡がるアフターサービス網

●お買い上げ商品のご相談は、最寄りの登録販売店もしくは、下記の弊社直営事業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783)8141
札幌営業所	〈011〉(783)8141
旭川営業所	〈0166〉(31)6501
釧路営業所	〈0154〉(37)4849
函館営業所	〈0138〉(49)9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68)2100
帯広営業所	〈0155〉(36)3833
北見営業所	〈0157〉(26)9011
仙台支店	〈022〉(284)3201
仙台営業所	〈022〉(284)3201
古川営業所	〈0229〉(24)0698
青森営業所	〈017〉(764)4466
八戸営業所	〈0178〉(43)3321
盛岡営業所	〈019〉(635)6221
水沢営業所	〈0197〉(22)5101
群山営業所	〈024〉(932)0218
いわき営業所	〈0246〉(23)6061
新潟支店	〈025〉(247)5356
新潟営業所	〈025〉(247)5356
長岡営業所	〈0258〉(23)1570
山形営業所	〈023〉(643)5225
酒田営業所	〈0234〉(26)3551
秋田営業所	〈018〉(863)5205
宇都宮支店	〈028〉(634)5295
宇都宮営業所	〈028〉(634)5295
小山営業所	〈0285〉(25)5559
水戸営業所	〈029〉(248)2033
土浦営業所	〈0298〉(21)6086
関東物流センター	〈048〉(771)3451
埼玉支店	〈048〉(771)3462
さいたま営業所	〈048〉(777)4801
川越営業所	〈049〉(222)2512
熊谷営業所	〈048〉(521)4647
越谷営業所	〈0489〉(76)6155
前橋営業所	〈027〉(232)5575
高崎営業所	〈027〉(365)3688
両毛営業所	〈0276〉(46)7661
千葉支店	〈043〉(231)5521
千葉営業所	〈043〉(231)5521
市川営業所	〈047〉(328)1554
成田営業所	〈0478〉(73)8101
木更津営業所	〈0438〉(23)2908
柏営業所	〈04〉(7175)0411
東京支店	〈03〉(3816)1141
東京営業所	〈03〉(3816)1141
中野営業所	〈03〉(3337)8431
足立営業所	〈03〉(3899)5855
大田営業所	〈03〉(3763)7553
江戸川営業所	〈03〉(3653)5171
多摩営業所	〈042〉(384)8411
立川営業所	〈042〉(542)1201
横浜支店	〈045〉(472)4711
横浜営業所	〈045〉(472)4711
川崎営業所	〈044〉(811)6167
平塚営業所	〈0463〉(54)3914
相模原営業所	〈042〉(757)2501
湘南営業所	〈0466〉(87)4001
静岡支店	〈054〉(281)1555
静岡営業所	〈054〉(281)1555
沼津営業所	〈055〉(923)7811
浜松営業所	〈053〉(464)3016
甲府営業所	〈055〉(276)7212
金沢支店	〈076〉(233)1213
金沢営業所	〈076〉(233)1213
七尾営業所	〈0767〉(52)3533
富山営業所	〈076〉(451)6260
高岡営業所	〈0766〉(21)3177
福井営業所	〈0776〉(35)1911
岐阜支店	〈058〉(274)1315
岐阜営業所	〈058〉(274)1315
多治見営業所	〈0572〉(22)4921
松本営業所	〈0263〉(25)4696
長野営業所	〈026〉(244)1022
上田営業所	〈0268〉(22)6362
飯田営業所	〈0265〉(24)1636
名古屋支店	〈052〉(571)6451
名古屋営業所	〈052〉(571)6451
一宮営業所	〈0586〉(71)5351
東名古屋営業所	〈05617〉(3)0072
知多営業所	〈0569〉(48)8470
岡崎営業所	〈0564〉(22)2443
豊橋営業所	〈0532〉(46)9117
四日市営業所	〈0593〉(51)0727
津営業所	〈059〉(232)2446
伊勢営業所	〈0596〉(36)3210
京都支店	〈075〉(621)1135
京都営業所	〈075〉(621)1135
福知山営業所	〈0773〉(23)7733
大津営業所	〈077〉(545)5594
彦根営業所	〈0749〉(22)6184
大阪支店	〈06〉(6351)8771
大阪営業所	〈06〉(6351)8771
東大阪営業所	〈06〉(6746)7531
関西物流センター	〈0725〉(46)6715
南大阪営業所	〈0725〉(46)6611
奈良営業所	〈0742〉(61)6484
橿原営業所	〈0744〉(22)2061
和歌山営業所	〈073〉(471)4585
田辺営業所	〈0739〉(25)1027
沖縄営業所	〈098〉(874)1222
兵庫支店	〈0794〉(82)7411
三木営業所	〈0794〉(82)7411
尼崎営業所	〈06〉(6437)3660
神戸営業所	〈078〉(672)6121
姫路営業所	〈0792〉(81)0204
広島支店	〈082〉(293)2231
広島営業所	〈082〉(293)2231
福山営業所	〈084〉(923)0960
三原営業所	〈0848〉(64)4850
岡山営業所	〈086〉(243)4723
宇部営業所	〈0836〉(31)4345
徳山営業所	〈0834〉(21)5583
鳥取営業所	〈0857〉(28)5761
松江営業所	〈0852〉(21)0538
高松支店	〈0878〉(41)2201
高松営業所	〈0878〉(41)2201
徳島営業所	〈088〉(626)0555
松山営業所	〈089〉(951)7666
宇和島営業所	〈0895〉(22)3785
高知営業所	〈088〉(884)7811
福岡支店	〈092〉(411)9201
福岡営業所	〈092〉(411)9201
北九州営業所	〈093〉(551)3481
飯塚営業所	〈0948〉(82)3161
久留米営業所	〈0942〉(43)2441
佐賀営業所	〈0952〉(30)6603
長崎営業所	〈095〉(882)6112
佐世保営業所	〈0956〉(33)4991
熊本支店	〈096〉(389)4300
熊本営業所	〈096〉(389)4300
八代営業所	〈0965〉(43)1000
大分営業所	〈097〉(567)3320
宮崎営業所	〈0985〉(26)1236
鹿児島営業所	〈099〉(267)5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711(大代)